

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成28年9月号

編 集

発 行 人

武田 隆久

〒102-8414 東京都千代田区三番町9-15

一般社団法人 日本病院会 通信教育課

TEL 03-5215-6647 (受講生専用)

FAX 03-5215-6648 (受講生専用)

URL <http://www.jha-e.com/>

受付時間

9:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)

発行日

毎月1日

定 価

1部 150円 1カ年1,600円(税込・送料込)

郵便振替

00190-5-396045

名 義

一般社団法人 日本病院会 通信教育部

歴史的経緯と世界的視野から、「診療情報」を考える機会に

木村 壯介

第42回日本診療情報管理学会 学術大会長

国立国際医療研究センター 名誉院長

第42回日本診療情報管理学会学術大会は、来る10月12~14日、東京国際フォーラムで開催されます。多数の応募をいただき、事務局も準備に奔走しているところです。今回は、ご存じの通りIFHIMA（診療情報管理協会国際連盟）国際大会2016、WHO-FIC（世界保健機関国際統計分類）ネットワーク年次大会との同時開催となります。従って、世界で診療情報はどのように扱われ、考えられているか、どのようなことが問題になってきたのかを知るまたとない機会です。国内の会員向けとして「海外ワークショップ、世界各国の診療情報管理の現状」、一方、IFHIMAの企画として行われる「死因統計サミット」「国際シンポジウム」があり、これらは同時通訳付きで行われます。さらに、ICD-11の内容、その進捗状況等がIFHIMAの中で報告され、本学術大会に参加される方はすべて聴講可能となります。これらのほかに国内大会としては、「先進的な医療情報活用への取り組み」として、発展し続ける医療情報の新たな管理・活用について、「診療情報をめぐる法的問題」、「診療記録の新たな質的監査の試み、～死亡時チェックシートの検討～」をシンポジウムとして組んでおります。生涯教育研修会のランチョンセミナーとしては「インフォメーション・ガバナンス」を予定、一般演題、学生演題合計約340題と合わせ、実り多き大会となるよう準備を進めております。

近年のITの進歩により、いわゆる診療記録領域においても爆発的な勢いで情報量が増え、その管理手段としての電子カルテ等のシステムも進歩し、診療記録の手段、その考え方自体、変化の渦中にあり、医療者はこのことに振り回されているといえる面もあると思います。物理的な統制や一般社会における契約・規制・記録とは異なる、医療の根底にある人間性、信頼、不確実性をも含めた情報の整理・選択を念頭に置きながら、是非多くの方に参加していただき一緒に考える機会になれば幸いです。多くの方の参加をお待ちしています。

